

行財政改革プランにおける外部視点による評価・検証の仕組みづくりに向けた専門委員からの意見(平成23年7月)

視点	主な意見	検討事項
内部評価	<p>部局別行動計画の進捗管理をメインに 進捗管理は負担感のないものに 社会環境の変化等によって当初想定していた取組内容を変更した方がよいこともありうるので、その場合は見直しを図ることができるように</p> <p>市職員がプランの目的「豊橋の活力の向上」を再確認し、共通認識をもつこと→入念な研修が必要 158の取組項目が重点項目(17)、基本方針(3)、2つの視点(地域力・行政力)、目的を実現するために効果的(有効性)、効率的(経済性)の観点から評価すればよい</p> <p>部局別行動計画の進行管理を把握し、進行が遅い計画について、問題点の所在、変更の可能性を念頭に 現在作成しているシートを活用できないか</p>	<p>研修の実施</p> <p>経営改革プランの進捗管理シートの活用 行政評価シートの活用</p>
外部評価	<p>情報量不足、時間の制約、権限の制約から各部局がまとめた進捗管理表をもとに評価すればよい 「地域力」「行政力」が上がっているかという視点で 評価者はあくまで市民</p> <p>市の内部評価がプランの目的に沿った評価となっているか、独自の評価に陥っていないかの検証を、対象を絞って抽出 評価者は専門委員4人でよい 重点項目⑮「事務事業の見直しと効率化の徹底」は施策体系との整合が必要</p> <p>内部評価資料をもとに計画が進んでいない取組を中心に外部評価するほうがよい</p>	<p>評価者として市民に加わってもらおう</p> <p>評価者は専門委員で構わない ⑮行政評価との整合性 対象を絞る</p> <p>計画が進んでいない取組を対象を絞る</p>
オープンな形	<p>昨年度実施したような方法であれば公開、議論が見える化、になる。 市民にわかりやすい議論をするためには市民生活に密着しているような取組を取り上げるべき</p> <p>158取組項目のうち重点項目(17)ごとに一つずつ抽出(合計17)して内部評価者と外部評価者との議論の様子を市民に公開する</p> <p>公開説明会の実施、状況の報告(広報とよはし)</p>	<p>公開ヒアリングの実施</p> <p>17取組について、市民に公開(公開ヒアリングのイメージ)</p>
外部評価活用	<p>外部評価結果に対する、行政側の回答は必須 情報公開を徹底し、広く公開し、市民の意見を集約すること 行動計画への対応を期限を切って報告する仕組みづくり</p>	<p>外部評価結果の回答 情報公開の徹底 報告期限付きの仕組みづくり</p>